

日刊 動労千葉

86. 6. 12

No. 2264

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

国労の仲間も大挙結集して 成功も大成功

全国上映 東部 西部 上映会

着実に前進する第三波！全国総決起

「俺たちは鉄路に生きる」全国上映運動の第二弾としての「6・10中野上映会」が六月十日、東京・中野文化センターで開催され、地域の労働者・市民・学生ら二九四名の参加のもと大成功をおさめた。協販部による物資の即売会も盛況で、動労千葉への共感・連帯の輪は確実に拡大しているといえる。

国労の仲間が大挙参加

6・2の東京・東部地区について開催された上映集会は、この間、地域の仲間と共に動労千葉の組合員が連日、各職場をまわり行ってきた参加・協力要請に快くこたえてくれた多くの国労の仲間・地域の労働者をはじめ、ビラやポスターを見て当日参加した市民・学生など、会場いっぱいの人々の参加のもと、十八時二〇分より開催された。

開会のあいさつにたった国労の仲間は、「この映画の中に労働者のストライキと何か、そして国鉄労働者の怒りと訴えがこめられている。本当に正念場を迎えた国鉄分割・民営化攻撃との闘いに国労の労働者も必ずたつ。動労千葉の闘いを支え、共に闘おう」と熱っぽく訴えた。

つづいて、製作上映委員会を代表して、動労千葉・吉岡（一）教宣部長があいさつにたち、参加された方々に対するお礼を述べるとともに、「上映運動の成功を通して分割・民営化阻止のもう一つ大きな陣形をつくりだそう。動労千葉は、十万人首切り阻止・国鉄法案阻止に向け、何度でも闘いにたつ。共に闘おう」との訴えを受け、上映に入った。

映画と物販が結合

上映終了後直ちに、被処分者を代表して、動労千葉・新藤青年部長があいさつにたち、

闘いの報告と力強い決意を明らかにした。最後に、この上映会成功のために尽力された東京西部上映委員会を代表して、都政を革新する会の富永茂夫氏より、国鉄ストライキ一億円支援基金の訴えをはじめ、動労千葉を全力で守り、共に分割・民営化阻止、反動中曽根政治を打ち破ろうとの閉会のあいさつで上映会を大成功のうちに終了した。

終了後のロビーでは、動労千葉協販部の即売店に多くの人々が集まり、品物を買う人、職場で取り組むからとポスターや申し込み書を持ちかえる人でにぎわった。

自信と確信をもつて 全国へ・地域へ

全国上映運動は、東京での二回の大成功につづき、連続的に全国津々浦々へと拡大しつつある。製作上映委員会には、全国各地・各職場から「上映したい」「フィルムをかりたい」「是非うちの職場に来て話しをしてくれ」との申し込みが相次ぎ、連日多くの組合員が全国を飛びまわっている。

動労千葉の二波のストライキ！国鉄労働者の血の叫び、怒りの声は、全国の多くの労働者の心を確実にとらえている。全組合員が確信もかたく全国へ、地域へ打って出よう。上映運動と物販の拡大こそ第三波の闘いを爆発させ、全国鉄労働者の決起！十万人首切り阻止を実現する道だ。